

GJP China News



2022年 第2号 ご挨拶

春節が明け、中国での新しい虎年の1年がスタートしました。2021年の中絶は概ね回復基調を維持し、後半に成長率が鈍化しました。年間経済総額は114兆元（約17.7兆米ドル）に達し、2020年と比較して米ドル換算で3兆米ドル以上増加しました。17.7兆米ドルは世界銀行が確認している190か国のGDP総額の約20%に相当します。また、この1年間の増加分は、英国の総経済規模に匹敵します。成長率が鈍化したとはいえ、中国で毎年創出される経済規模の大きさに圧倒されるとともに、市場としての魅力の大きさを改めて認識します。また、中国の着実な経済成長により、2021年の一人当たりGDPは約12,500米ドルとなり、世界平均を上回り、世界銀行が定義する高所得国（2021年12,695米ドル）に近づいています。都市部を中心に豊かで便利な生活環境が実現されており、私たちの日々の生活でもQuality of Lifeを実感しています。デジタル・テクノロジーを活用したさまざまなサービスが多方面で展開され、中国の生活は日々進化しているといえます。

KPMG中国 GJP中国総代表 高部一郎

1. 中国経済ウォッチ：2022年第1四半期

現在の世界経済は、より伝染力の強い変異型オミクロンの世界的な蔓延、高インフレによる先進国での金融引き締めの加速、国際的なサプライチェーンにおける緊張の継続など、依然として不確実性が高く、需要縮小、供給ショック、期待の弱まりなどにより中国経済も圧迫されています。しかし、成長安定化政策に支えられ、中国経済は回復を続け、2022年には5.2%の成長を達成すると予想しています。また今後、中国経済の変革と高度化において、製造業が中心的な役割を果たすことに変わりはないでしょう。グリーン開発に関連する投資も注目されており、この変化は、中国の再生可能エネルギーへの投資を加速させ、製造業企業のGX（グリーン・トランسفォーメーション）を促進し、エネルギー効率の高い製造装置や排出ガスなどの産業への投資を増加させると考えられています。このシフトにより、中国の再生可能エネルギーへの投資が加速され、製造業のグリーン化が促進され、省エネ型製造装置や排ガス処理装置への投資が増加すると考えられます。また、中央銀行は引き続き金融構造政策手段を導入し、戦略的新興産業への信用供与を拡大し、伝統的製造業の設備更新と技術転換を支援します。

- > [全文はこちら](#) (中国語)
- > [全文はこちら](#) (英語)

2. KPMG China Automotive Technology 50 First Round List : 自動車イノベーション・サービス分野

2021 年末に第 5 回「KPMG 中国自動車技術先進企業 50 社選別」が正式にスタートしました。今回は、「革新的サービス」「自動走行」「電動化」「スマート・インターネット・コネクション」という 4 つの分野から、オンライン自動車、自動車アフターマーケット、商業物流、その他の B2B サービスの分野で有力な企業や新興企業が選定されています。自動車の所有者、乗客、物流業者、OEM 向けのサービスを含め、自動車イノベーションサービスのエコシステムは拡大を続けています。自動車サブスクリプションやオンデマンドサービスなど、テクノロジー中心のビジネスモデルへの移行が進む中、新たな競合他社がこの急成長する市場セグメント向けのソリューションを開発しています。

主要企業：曹操出行、德师傅、聚盟共建、快准车服、明觉科技、能链、T3 出行、维天运通（路歌）、享道出行、新康众、新瑞立

新興企業：沛岱汽车、清研精准、企域数科、耀出行

> [全文はこちら](#) (中国語)

3. グローバル・オートモーティブ・エグゼクティブ・サーベイ 2021

自動車セクターがこれほどさまざまな機会と課題に直面したことはほとんどありません。エグゼクティブは、今後大きな変革を予想しています。新しいパワートレイン、消費者との関係、所有形態、製造工程、テクノロジー、データフロー。次の 10 年間は、世界規模でのビジネスモデルのイノベーションが予想されます。しかし、彼らの既存の能力だけではそれらを乗り切るのは不十分です。これまで経験がないほどに力を尽くす覚悟が必要です。この調査が示唆する 4 つの検討すべき事項は次の通りです。想定外に備える（広範囲のシナリオに対し計画を立てる）、単独ではできない（提携、合弁事業、買収など）、顧客が大事（円滑な顧客体験を創造）、スピードが重要（競争相手よりも迅速に適切な決断を下す）。

> [全文はこちら](#) (日本語)

> [全文はこちら](#) (英語)

4. データエコノミーに対応する次世代モビリティ

脱炭素 SDGs という新しい価値づくりが自動車業界にも今起きており、背景にある欧州発のゲームチェンジャーの動きによって、急速に進んでいます。脱炭素 SDGs という目に見えない価値を可視化し、インターネット化するという新しい社会を構築する基盤としてブロックチェーンが注目されており、スマートシティを作るために必要なのがブロックチェーンというのが、世界的な流れになっています。ブロックチェーンは、そのデータを改ざんされないように、いつも複製されないように管理するという技術であり、大きな目的は 2 つあります。1 つはデジタルツインといわれる仮想のデジタル空間を創造すること。もう 1 つはデータの履歴、遡及性といったトーサビリティを確立することです。それ以外にも、車載電池のサプライチェーンやバッテリーの状態 (SOH) 、再生可能エネルギーが、どこから来てどうやって使われたのかという色付けなどにもブロックチェーンは活用されはじめています。

> [全文はこちら](#) (日本語)

5. 経理財務領域のデジタル化

紙書類や手作業がいまだ多く残る経理財務領域ですが、昨今リモートワーク化やペーパーレス化が求められています。デジタル化によるオペレーション改革により、課題を解決する方法をご紹介します。KPMG ではデジタル化だけでなく、経理財務の未来の姿、Future of Finance へのトランスフォームを目指したさまざまな取組みを行っています。本シリーズでご紹

介しているデジタルソリューション活用による「オートメーション」は、Future of Finance の必須の構成要素です。今後も Future of Finance に関する情報を発信いたします。

> [全文はこちら](#) (日本語)

＜ご参考＞ COVID-19 対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫”（中国語）[資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights （英語）[資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響（KPMG ジャパン）[資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



Contact us お問合せ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+86(21)22122247) (日本語)